

Q2

水俣病ってどんな病気 なんだろう？

A2

水俣病の主な症状としては、両手両足の感覚が鈍くなる、動きがぎこちなくなる、目が見える範囲が狭くなる、耳が聞こえにくくなる、言葉がはっきりしなくなるなどがあります。人それぞれによって症状や程度が異なります。

発生当初のとても症状が重い人では、けいれんを起こしたり、意識不明になって亡くなることもありました。これらの症状は、体内に取り込まれたメチル水銀が、脳や神経に障害を与えることにより引き起こされました。

また妊娠している母親の体内に入ったメチル水銀が、へその緒を通じておなかの赤ちゃん(胎児)に取り込まれ、生まれながらに水俣病の症状をもった赤ちゃん(胎児性水俣病患者)も見られました。

水俣病はメチル水銀による中毒症であり、空気や食物を通じて人から人へうつることはありません。また、遺伝により発生することはありません。もちろん、水俣地域特有の病気(風土病)でもありません。

メチル水銀により一度壊れてしまった脳の細胞を元通りにすることは困難です。このため水俣病を治すことができる治療法は無いと言われており、一時的に症状をやわらげる治療が主になっています。

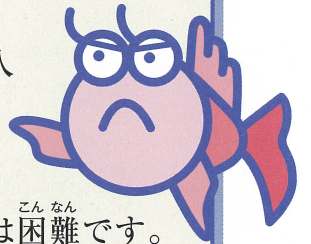


図3 水俣病の主な症状

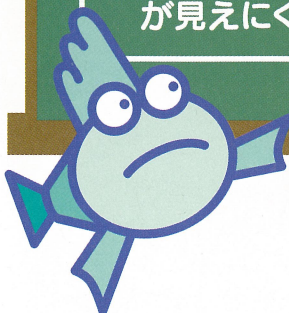
- ころびやすい
- まっすぐ歩きにくい
- ボタンをかけたり、衣服の着脱など日常の動作が思うようにできない
- 言葉がはっきりしない

- まっすぐ見たときに周辺が見えにくい

- 音を識別しにくい
- 相手の言うことが聞き取りにくい

- じんじんするしびれ
- さわられた感じや痛みを感じにくい
- 熱いものや冷たいものにさわっても感じにくい

このような症状が人それぞれによって様々に現れるのが水俣病なのだよ!



Q3

水俣病が発生してどんな被害があったんだろう？

A3 ①健康被害

水俣病患者は、水俣湾周辺を中心とする八代海沿岸と新潟県阿賀野川流域で発生し、多くの人々が水俣病による健康被害に苦しみました。水俣病と認められた患者の数は、平成26年9月30日現在で2,978人に上っており、被害者の苦しみは、今なお続いています。

②環境汚染

チッソ水俣工場の排水により、水俣湾には水銀を含んだ大量のヘドロが海底に積み重なり、環境が汚染されました。海底に積み重なったヘドロの厚さは、4mに達するところもありました。また、水銀によって水俣湾の魚介類は汚染され、人々は魚を捕ったり食べたりすることができなくなりました。

③差別・偏見

水俣病の原因がまだはっきりしなかった頃から、水俣病は空気を通じて人から人へうつると誤解され、患者が出た家庭には、人々が近づかなかったり、就職・結婚が断られるなどの差別がありました。これらのいわれのない差別や偏見(かたよった見方)は、被害者や家族を大変苦しめました。



図4 水俣病認定患者の発生分布
平成26年9月30日現在



●の大きさは、人数の多い少ないを表します。
新潟県認定患者702名